



資料館 だより

No.9
2006年
11月号

あおぞら財団附属のエコミューズは大気汚染公害問題資料、西淀川地域資料などを所蔵しています。ぜひ、ご利用ください。
場 所: あおぞらビル5F
利用時間: 月曜日と金曜日 10:00-17:00
(12:00-13:00 休み、祝日休み)

新しい資料がドーンと増えました 「大阪から公害をなくす会資料」 「谷智恵子弁護士資料」

エコミューズでは、新たに多くの資料の寄贈を受けました。一つは前号で紹介した「大阪から公害をなくす会」の資料で、ダンボール箱に



資料整理の様子

して約40箱あります(9月11日受入)。「これは整理が大変」と、大学生たちに手伝いをお願いして、目録作成の作業をはじめました。ホコリまみれの資料のため、マスクは欠かせません。

もう一つは、西淀川公害訴訟弁護団の一人、谷智恵子弁護士からの資料です(10月2日受入)。こちらはダンボール6箱です。大気汚染の被害者たちの個人記録などがたくさん入っています。資料の保管場所の確保には苦勞しますが、エコミューズの資料が徐々に充実しているのは嬉しいことです。

西淀川大気汚染公害フィールドワーク 医学生たちが西淀川公害を学ぶ

「西淀川公害」を学びに、医学生たち13人が9月16日エコミューズを訪れました(主催:大阪民主医療機関連絡会)。西淀川での反公害住民運動の中で、被害の実態を明らかにし、被害者を救済していくために、医師、医療機関は大きな役割を果たしました。そのことを、これから医師になろうと励んでいる医学生たちに学んでほしいというのが企画の趣旨です。

被害者、患者の立場にたった医療を広げていくお手伝いになればと思います。

西淀川図書館から発信 展示「見つけたよ西淀川の自然」 9/1~10/31 ビデオ上映会(10/22)、親子教室(10/28)

昨年に引き続き、西淀川図書館にて展示をしました。「子供向けの展示にしてくれたほうがうれしい」という要望にお答えして、西淀川子どもエコクラブと探鳥会で活動してきた実績をわかりやすく紹介しました。



牛乳パックから「葉っぱアートハガキ」

西淀川には鷹(ミサゴ)がいるよ!という西淀川の自然の紹介や、夏休みエコ工作である牛乳パックで作ったハガキを展示しました。展示ケース前で

休憩していたとき、子ども達が「あ!クマゼミ!」など声も聞こえてきました。展示のほかにも、ハガキ作りの親子教室や、西淀川公害を伝える環境教育ビデオ「手渡したいのは青い空~未来からのメッセージ」の上映会も開催しました。普段気がつかない西淀川の「エエ面」を伝えることができたかな?

エコミューズのポスター活躍中 「アジアのグラフィックデザイン」展 9/30~10/15 きんき環境館「秋の展示会」 10/3~13

できたてホヤホヤのエコミューズのポスターの出番が相次ぎました。大阪市立近代美術館建設準備室心齋橋展示室ではアジアのグラフィックデザイン展、きん



エコミューズのポスター展示(きんき環境館)

き環境館では秋の展示会があり、多くの方に見てもらいました。これからも、お披露目の機会をつくっていきますので、よろしくお願ひします。

国際的アピールで公害問題を解決 パリ国際 NGO 会議

大阪から公害をなくす会には、西淀川公害の資料がたくさんあり、第一次判決日の一日を撮影したビデオや、ピラマキの様子の写真があります。

中にはパリで行われた国際 NGO 会議の写真もあります。この会議はブラジルで開催されたリオ環境サミットの前段階として 1991 年 12 月に開催されたもので、公害を反対する団体として患者会が招待されました。ま

パリ国際 NGO 会議の写真



だ、「NGO」という言葉が日本で浸透していない頃に、患者会は国際 NGO としてデビューしていたことを知らせ

る貴重な資料です。ロビーでは二酸化チッソの簡易測定を行ったり、日本での公害を主張したりしました。その後、患者会はリオ環境サミットにも参加し、「公害はまだ終わっていない」と大舞台で発言します。このような国際的なアピールは、日本での公害問題が解決する動きを作るきっかけとなりました。(林)

やかた 館 訪問記

その 9 .
佃 女工さん遭難の碑
佃墓地
大阪市西淀川区佃 3 丁目

佃の堂見敏雄氏から「尼崎から佃への渡し舟が沈んで家路に向かう女工さんたちが亡くなったんやけど、その慰霊碑が佃墓地にあるよ。」と教えてもらいました。

それではと、堂見さんの案内で佃墓地に向かいました。慰霊碑は



碑の前で

墓地中央部にあります。碑文によれば大正 2 年 11 月 2 日に大阪合同紡績株式会社神崎支店工場の 31 人の男女工手が佃津に向かう途中、渡し舟が沈没して女性のみ 18 名が亡くなりました。新聞紙上で工手の母が義捐金をつのり、そのお金の一部を使って碑を建てたとのこと。工業が発達した尼崎に西淀川から働きに行っていたことなど碑文からわかります。遭難の様子を掲載した新聞記事があるはず。機会をみて、探してみたいと思います。(林/2006 年 8 月 5 日訪問)

お知らせ

第 31 回西淀川地域研究会(主宰:小田康徳館長)
今回は「まちあるき+おはなし」の豪華版!

永大石油の跡をたずねる

西淀川公害 住民運動の出発点

日 時:2006 年 11 月 15 日(水)14:30~17:00

報告者:吉田 誠宏 氏(元・大阪府職員)

集合場所:阪神西大阪線「出来島」駅改札口

集合時間:14:30 (解散は西淀川高校で 17:00 予定)

資料代・保険料:500 円

内 容:永大石油の工場は亜硫酸ガスを排出し周辺住民を悩ませ、公害反対運動がおこりました。昭和 44(1969)年に規制に取り組んだ元・大阪府職員の吉田誠宏氏、住民側の代表であった森脇君雄氏と一緒に跡地を歩き、話を聞きます。

参加を希望される方は事前にご連絡ください。

大阪市アーカイブス特別展示

高度経済成長期の大阪市政

大阪の街の変遷を振り返る

期 間:2006 年 11 月 5 日(日)~16 日(木)

時 間:9:00~17:30 期間中無休[入場無料]

場 所:大阪市公文書館

大阪市西区北堀江 4-3-14(地下鉄西長堀下車 7-A 番出口)

会期中、講演会やビデオ上映会があります。お問い合わせは大阪市公文書館まで(TEL=06-6534-1662)

編集後記

朝日新聞の「週刊まちぶら 第 96 号」でエコミューズが紹介されました(2006 年 10 月 2 日)。タイトルは「変わるモノづくりの町 御幣島駅がいわい」。おかげさまで「新聞を見てエコミューズのことを知りました」と言って館を訪れる人もいます。これをきっかけに御幣島駅がいわいのご近所さんともお仲間になれるとうれしいです。

「資料館だより」No.9 2006 年 11 月号
(隔月 1 日、年 6 回発行)

発行所 あおぞら財団 西淀川・公害と環境資料館
編集スタッフ 繪山善理子、林美帆

連絡先 (財)公害地域再生センター(あおぞら財団)
〒555-0013 大阪市西淀川区千舟 1-1-1 あおぞらビル 4F
TEL:06-6475-8885 FAX:06-6478-5885
Email: webmaster@aozora.or.jp
http://www.aozora.or.jp/shiryou